

内村 航平 UCHIMURA, Kohei



1989年(昭和64年)1月3日生まれ(27歳)。長崎県出身。身長162cm。体操開始年齢3歳。

現所属:コナミスポーツクラブ(日本体育大学卒)。コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。得意種目「ゆか、平行棒、鉄棒」。

初めての国際大会:2005年国際ジュニア(オープン参加)

ナショナル入り2006年:ナショナルNo.162。

家が体操クラブであり、遊んでいるうちに本格的に体操を始める。2006年高校選抜と全日本ジュニアの2冠を獲得し、その年の全日本では高校生ながらナショナル入り。2007年ユニバーシアード団体優勝とともに種目別ゆかで優勝。その勢いを維持して1年生ながら学生日本一のタイトルを獲得した。2008年、初めてのオリンピックで団体銀メダルに貢献。さらに個人総合決勝ではあん馬において2度落下したがあきらめず、つり輪以降、最後の鉄棒まで真摯な演技を続け、銀メダルを獲得した。翌2009年の世界選手権では日本人選手4人目となる個人総合チャンピオンに輝き、2010年、2011年、2013年、2014年、2015年も優勝して世界選手権6連覇の記録更新中(2014年、ギネス記録にも認定)。2012年、世界チャンピオンとして迎えた2度目となるオリンピック(ロンドン)では、予選でミスを重ねて個人9位。しかし、団体決勝ではチーム一丸となって銀メダル獲得に貢献し、さらに、個人総合では念願の金メダルを獲得した。2014年世界選手権ではわずか0.1差で団体優勝を逃したが、2015年世界選手権では跳馬でリシャオペンを成功させるなど、さらに進化した姿で念願の団体優勝を勝ち取り、オリンピック団体タイトル獲得に向けて突き進む。

【国内大会】

- ◆03 全国中学:42位 ◆04 全日本ジュニア2部:出場 ◆04 高校選抜:15位 ◆05 インターハイ:14位
- ◆05 全日本ジュニア:3位 ◆05 全日本:出場 ◆06 高校選抜:1位 ◆06 インターハイ:個人2位
- ◆06 全日本ジュニア:1位 ◆06 全日本:8位 ◆07 世界選手権2次予選:16位 ◆07NHK杯:11位
- ◆07 全日本学生:1位 ◆07 全日本:7位 ◆08 五輪2次選考会:1位 ◆08NHK杯:2位 ◆08 全日本学生:2位
- ◆08 全日本:1位 ◆09 全日本個人:1位 ◆09NHK杯:1位 ◆09 全日本学生:1位
- ◆09 全日本種目別:ゆか1位、つり輪2位、平行棒1位、鉄棒2位 ◆10 全日本個人:1位 ◆10NHK杯:1位
- ◆10 全日本学生:1位 ◆10 全日本種目別:ゆか1位、跳馬1位、平行棒7位、鉄棒1位 ◆11 全日本個人:1位
- ◆11NHK杯:1位 ◆11 社会人:出場 ◆11 全日本種目別:ゆか1位、あん馬1位、鉄棒1位 ◆12 全日本個人:1位
- ◆12NHK杯:1位 ◆12 社会人:1位 ◆13 全日本個人:1位 ◆13NHK杯:1位 ◆13 社会人:1位 ◆13 全日本団体:1位
- ◆14 全日本個人:1位 ◆14NHK杯:1位 ◆14 全日本シニア:1位 ◆15 全日本個人:1位 ◆15NHK杯:1位
- ◆15 全日本シニア:1位 ◆16 全日本個人:1位 ◆16NHK杯:1位 ◆16 全日本種目別:鉄棒1位

【国際大会】

- ◆05 国際ジュニア:オープン出場 ◆06 環太平洋選手権ジュニア:団体1位、ゆか1位、つり輪4位、平行棒2位
- ◆06 ボローニンカップ:団体1位、個人4位、ゆか3位、つり輪6位、平行棒7位、鉄棒3位 ◆07 フランス国際:跳馬3位
- ◆07 ユニバーシアード:団体1位、ゆか1位、跳馬3位 ◆07 北京国際招待:団体2位、ゆか7位 ◆08 天津国際:ゆか1位
- ◆08 北京オリンピック:団体2位、個人2位、ゆか5位 ◆08 豊田国際:ゆか2位 ◆08 ワールドカップ決勝:ゆか2位
- ◆09 コト布斯国際:ゆか1位 ◆09 JAPAN CUP:団体1位、個人1位 ◆09 世界選手権:個人1位、ゆか4位、鉄棒6位

- ◆09 豊田国際:ゆか1位、あん馬7位、鉄棒2位◆10 フランス国際:つり輪 2 位、鉄棒 1 位
- ◆10 JAPAN CUP: 団体 1 位、個人 1 位◆10 世界選手権: 団体 2 位、個人 1 位、ゆか 2 位、平行棒 3 位
- ◆10 豊田国際:ゆか 1 位、跳馬 6 位、鉄棒 2 位◆11 JAPAN CUP: 団体 1 位、個人 1 位
- ◆11 世界選手権: 団体 2 位、個人 1 位、ゆか 1 位、あん馬 5 位、つり輪 6 位、平行棒 4 位、鉄棒 3 位
- ◆11 W杯東京大会: 個人 1 位◆11 豊田国際:ゆか 1 位、鉄棒 1 位
- ◆12 ロンドンオリンピック: 団体 2 位、個人 1 位、ゆか 2 位
- ◆13 世界選手権: 個人 1 位、ゆか 3 位、平行棒 1 位、鉄棒 3 位
- ◆13 豊田国際:ゆか 2 位、つり輪 8 位、平行棒 1 位、鉄棒 1 位◆14 W杯東京大会: 個人 1 位
- ◆14 世界選手権: 団体 2 位、個人 1 位、鉄棒 2 位◆14 豊田国際: 鉄棒 1 位
- ◆15 世界選手権: 団体 1 位、個人 1 位、鉄棒 1 位

田中 佑典 TANAKA, Yusuke



1989年(平成元年)11月29日生まれ(26歳)。和歌山県出身。身長166cm。体操開始年齢7歳。

現所属:コナミスポーツクラブ(順天堂大学卒)。得意種目「平行棒、鉄棒」。

コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。趣味:インテリア。

初めての国際大会:2002年UWWカップ

ナショナル入り2006年:ナショナルNo.165。

家族が体操一家であり、兄(和仁)、姉(理恵)が体操を始めていく中で、家で留守番よりは退屈しないと思い体操を始める。ジュニア期から強化指定選手に選ばれ力をつけ、2006年、兄弟の中ではもっとも早くナショナル入りを果たした。2007年のコト布斯国際で、高校2年生ながら鉄棒2位に入り、さらに国際ジュニア(横浜)では個人総合優勝を果たし注目を集める。その冬に右手首を疲労骨折するが、驚異的な回復で2008年春先の試合に出場した。2011年、初めて臨んだ世界選手権では、ゆかのアクシデントによる演技中断や団体決勝での鉄棒での落下など、ほろ苦いデビュー戦となった。大学では1年次と4年次に団体優勝の感動を味わい、チーム戦の魅力に目覚める。史上初となる3兄弟で出場したオリンピックでは団体決勝の鉄棒で会心の演技を披露し、団体銀メダルに貢献した。2014年、全体的な演技に磨きがかかり、世界選手権代表に返り咲き、個人総合で銅メダルを獲得。つり輪におけるホンマ脚上拳十字(タナカ)をはじめとする技の習熟度の表現は秀逸で、2015年世界選手権の団体金メダル獲得をステップにオリンピック団体タイトル獲得をめざす。

【国内大会】

- ◆00 全日本ジュニア B クラス:5 位◆01 全日本ジュニア B クラス:1 位◆02 全日本ジュニア A クラス:3 位
- ◆02 全国中学:11 位◆03 全日本ジュニア 2 部:17 位◆03 全国中学:19 位◆04 全日本ジュニア:出場
- ◆04 全国中学:3 位◆05 インターハイ:35 位◆05 全日本ジュニア:10 位◆05 全日本:出場◆06 高校選抜:14 位
- ◆06 インターハイ:24 位◆06 全日本ジュニア:8 位◆06 全日本:9 位◆07 世界選手権 2 次予選:20 位

- ◆07NHK杯:15位◆07インターハイ:3位◆07全日本ジュニア:1位◆07全日本:出場◆08五輪2次選考会:31位
- ◆08全日本学生:7位◆08全日本:5位◆09全日本個人:17位◆09NHK杯:14位◆09全日本学生:2位
- ◆09全日本団体:出場◆10全日本学生:出場◆10全日本種目別:つり輪8位◆11全日本個人:5位
- ◆11NHK杯:6位◆11全日本学生:1位◆11全日本種目別:鉄棒2位◆12全日本個人:10位◆12NHK杯:16位
- ◆12社会人:2位◆12全日本種目別:鉄棒1位◆13社会人:7位◆13全日本団体:1位◆14全日本個人:9位
- ◆14NHK杯:4位◆14全日本種目別:平行棒8位、鉄棒1位◆14全日本シニア:2位◆15全日本個人:2位
- ◆15NHK杯:2位◆16全日本個人:6位◆16NHK杯:3位◆16全日本種目別:あん馬6位、平行棒6位、鉄棒2位

【国際大会】

- ◆02UWWカップ:個人2位◆03アジアジュニア:団体2位、個人13位、跳馬8位、平行棒8位
- ◆06国際ジュニアチームカップ:団体1位◆07オーストラリア招待:団体1位、個人7位◆07コト布斯国際:鉄棒2位
- ◆07国際ジュニア:個人1位、ゆか6位、つり輪3位、跳馬1位、鉄棒3位◆10PCG:団体1位
- ◆11世界選手権:団体2位、鉄棒6位◆11豊田国際:平行棒1位、鉄棒2位◆12ロンドンオリンピック:団体2位
- ◆12豊田国際:ゆか2位、つり輪2位、平行棒1位、鉄棒1位
- ◆13ユニバーシアード:団体3位、個人7位、ゆか4位、平行棒7位、鉄棒2位
- ◆13東アジア:団体2位、ゆか6位、平行棒4位、鉄棒1位◆14世界選手権:団体2位、個人3位、平行棒5位
- ◆14W杯ドイツ大会:個人5位◆14W杯イギリス大会:個人2位◆14豊田国際:平行棒1位、鉄棒2位
- ◆15W杯アメリカ大会:個人5位◆15アジア選手権:団体1位、個人2位、つり輪5位、鉄棒1位
- ◆15世界選手権:団体1位、平行棒7位◆15豊田国際:平行棒1位、鉄棒1位

加藤 凌平 KATO, Ryohei



1993年(平成5年)9月9日生まれ(22歳)。埼玉県出身。身長163cm。体操開始年齢9歳。

得意種目「ゆか、平行棒」。現所属:コナミスポーツクラブ(順天堂大学卒)。コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。

初めての国際大会:2008リューキンカップ

ナショナル入り年2011年:ナショナルNo.179。

父親がコナミスポーツクラブの指導者で、ナショナルコーチであったことから、幼少期から草加の体育館が遊び場として体操に触れる。自身もいつかは本格的に取り組みたいと思っていた矢先、基本練習を学ぶことで次々に新しい技を覚えることに楽しさを見出し成長する。2011年NHK杯で8位となり一躍トップ選手の仲間入り。しかし、ナショナルとして出場したKOREAN CUP(韓国国際)では思うように他国製の器具に合わせるができず自分の持てる力を出し切れなかったことから、さらに上を目指す練習に取り組む。2012年、ゆかの実力を評価されてオリンピック・ロンドン大会日本代表に。ロンドンではデビュー戦とは思えない落ち着きぶりで安定感のある演技を披露して団体銀メダル獲得に大きく貢献。2012年インカレでは大学1年生ながら団体と個人のタイトルを獲得した。2013年5月、競技会中につり輪のケーブルが切れるアクシデントに見舞われ

て肩を痛めたが何とか調整し、初出場の世界選手権で内村に次いで銀メダルを獲得した。2014年世界選手権では個人総合の出場を内村航平、田中佑典に譲ったが、決勝に進出した平行棒では銅メダルを獲得し、種目別選手としての成長も見せている。2015年のインカレで足首を負傷し、その年の世界選手権の出場が危ぶまれたが、周りの支えと前向きな気持ちの切り替えで間に合わせ、4種目出場ながら団体優勝に大きく貢献した。2016年アメリカンカップでは個人総合優勝し、オールラウンダーとしての復帰戦を飾り、オリンピック・リオデジャネイロ大会団体優勝に欠かせない存在感を示した。

【国内大会】

- ◆08 全日本ジュニア A クラス:1 位◆08 全国中学:7 位◆09 インターハイ:29 位◆09 全日本ジュニア:35 位
- ◆10 高校選抜:5 位◆10 ユースオリンピック 1 次予選:7 位◆10 ユースオリンピック代表決定:6 位
- ◆10 インターハイ:33 位◆10 全日本ジュニア:12 位◆10 全日本種目別:ゆか 3 位◆11 全日本個人:7 位
- ◆11NHK杯:8 位◆11 インターハイ:2 位◆11 全日本ジュニア:2 位◆11 全日本種目別:出場◆12 全日本個人:4 位
- ◆12NHK杯:4 位◆12 全日本学生:1 位◆12 全日本団体:1 位◆12 全日本種目別:ゆか 1 位、あん馬 2 位
- ◆13 全日本個人:2 位◆13NHK杯:2 位◆13 全日本学生:4 位◆13 全日本団体:3 位◆14 全日本個人:3 位
- ◆14NHK杯:3 位◆14 全日本種目別:ゆか 2 位、あん馬 7 位◆14 全日本学生:1 位◆15 全日本個人:3 位
- ◆15NHK杯:3 位◆15 全日本種目別:ゆか 5 位◆15 全日本学生:出場◆15 全日本団体:2 位
- ◆16 全日本個人:3 位◆16NHK杯:2 位◆16 全日本種目別出場

【国際大会】

- ◆08 リューキンカップ(14~15 歳の部):個人 1 位◆10 リューキンカップ:個人 14 位
- ◆11 韓国国際:ゆか 6 位、跳馬 5 位、鉄棒 6 位
- ◆11 国際ジュニア:個人 2 位、ゆか 1 位、跳馬 1 位、平行棒 3 位、鉄棒 2 位◆12 ロンドンオリンピック:団体 2 位
- ◆12 豊田国際:ゆか 1 位、あん馬 1 位、鉄棒 4 位◆13W杯フランス大会:平行棒 1 位◆13W杯東京大会:個人 2 位
- ◆13 ユニバーシアード:団体 3 位、個人 5 位、ゆか 1 位、あん馬 5 位、平行棒 4 位、鉄棒 3 位
- ◆13 世界選手権:個人 2 位、鉄棒 7 位◆13 豊田国際:あん馬 2 位、平行棒 2 位◆14W杯東京大会:個人 3 位
- ◆14 世界選手権:団体 2 位、ゆか 6 位、平行棒 3 位◆14 豊田国際:ゆか 1 位、あん馬 2 位、平行棒 2 位
- ◆15W杯アメリカ大会:個人 2 位◆15 アジア選手権:団体 1 位、個人 1 位、あん馬 7 位、鉄棒 7 位
- ◆15 世界選手権:団体 1 位◆15 豊田国際:あん馬 2 位、平行棒 3 位、鉄棒 3 位◆16W杯アメリカ大会:個人 1 位

白井 健三 SHIRAI, Kenzo



1996(平成 8 年)8 月 24 日生まれ(19 歳)。神奈川県出身。身長 162cm。体操開始年齢 3 歳。

現所属: 日本体育大学(2 年生)。得意種目「ゆか、跳馬」。

コーチ: 畠田好章。

初めての国際大会: 2011 年国際ジュニアチームカップ

ナショナル入り 2013 年: ナショナル No.189。

家族が体操一家であり、両親が体操の指導者であることから 2 人の兄(勝太郎、晃二郎)とともに自然と体操と向き合っていく。2011 年、中学 3 年生として初めて出場した全日本種目別(ゆか)では、後方宙返り 3 回半ひねりからの宙返り技など、当時の世界トップ選手でもこなしていなかった大技を成功させ、世界チャンピオン内村航平選手に及ばなかったものの、周囲を驚かせた。2011 年 12 月のボローニンカップでは後方宙返り 4 回ひねりを成功させ、ロシアの会場でどよめきと喝さいを受け、Youtube を通じて世界的に注目されるようになる。2012 年 11 月、次世代の中国シニア選手が出場するアウェーのアジア選手権に出場。初めて男女の揃う体操ニッポン選手団の一員として戦うチームワークに楽しさを感じる。ジュニアの全国大会においてゆかでは、2008 年から優勝を重ね、2013 年 6 月、念願の種目別タイトルを獲得。さらに世界選手権代表選考基準として設定された得点 15.900 をマークし、日本体操男子史上、最年少の代表選手となった。初めての世界選手権では、前方伸身宙返り 3 回ひねりと後方伸身宙返り 4 回ひねりの世界で初めて演じられた技を含め、見事に演技をまとめ、予選、決勝ともにトップの得点で金メダルを獲得した。後日、それらの技は「シライ」と命名されることになった。2014 年世界選手権では初めて団体戦を経験したが、0.1 の差で中国に敗れ悔しさをかみしめる。その後、得意のゆかではリジョンソン(G 難度)を構成するなど、2015 年世界選手権では成長した姿を見せ、団体と種目別のタイトルを獲得。オリンピック・リオデジャネイロ大会に向けて更なる進化を続けている。

【国内大会】

- ◆07 全日本ジュニア B クラス: 7 位 ◆08 全日本ジュニア B クラス: 3 位 ◆09 全日本ジュニア A クラス: 32 位
- ◆10 全日本ジュニア 2 部: 15 位 ◆10 全国中学: 5 位 ◆11 全日本ジュニア 2 部: 2 位 ◆11 全国中学: 3 位
- ◆11 全日本種目別: ゆか 2 位 ◆12 インターハイ: 36 位 ◆12 全日本ジュニア: 10 位 ◆12 全日本種目別: ゆか 5 位
- ◆13 高校選抜: 10 位 ◆13 全日本個人: 予選 53 位 ◆13 全日本種目別: ゆか 1 位 ◆13 インターハイ: 3 位
- ◆13 全日本ジュニア: 3 位 ◆14 高校選抜: 3 位 ◆14 全日本: 16 位 ◆14NHK杯: 15 位 ◆14 全日本種目別: ゆか 1 位
- ◆14 インターハイ: 2 位 ◆14 全日本ジュニア: 1 位 ◆15 全日本個人: 11 位 ◆15NHK杯: 11 位
- ◆15 全日本種目別: ゆか 1 位、跳馬 5 位 ◆15 全日本学生: 個人 3 位 ◆15 全日本団体: 1 位
- ◆16 全日本個人: 2 位 ◆16NHK杯: 5 位 ◆16 全日本種目別: ゆか 1 位、跳馬 5 位

【国際大会】

- ◆11 国際ジュニアチームカップ: 団体 4 位、<15-16 歳>個人 6 位 ◆11 ボローニンカップ: ジュニア個人 4 位、ゆか 1 位、跳馬 1 位 ◆12 ロシアジュニア国際: 団体 9 位、個人 1 位、ゆか 1 位、つり輪 7 位、跳馬 1 位、平行棒 2 位、鉄棒 1 位
- ◆12 アジア選手権: 団体 2 位、ゆか 1 位、跳馬 6 位 ◆13 世界選手権: ゆか 1 位、跳馬 4 位

- ◆13 豊田国際:ゆか 1 位、跳馬 10 位◆14 カタール国際:ゆか 1 位、跳馬 3 位◆14 世界選手権:団体 2 位、ゆか 2 位、跳馬 4 位◆14 メモリアルガンダー:出場◆14 スイスカップ:チーム 5 位◆14 豊田国際:ゆか 4 位、跳馬 2 位
- ◆15 コト布斯国際:ゆか 1 位、跳馬 1 位、平行棒 6 位◆15 アジア選手権:団体 1 位、ゆか 1 位、跳馬 2 位
- ◆15 世界選手権:団体 1 位、ゆか 1 位、跳馬 7 位◆15 豊田国際:ゆか 1 位、跳馬 1 位
- ◆16 アゼルバイジャン国際:ゆか 1 位、跳馬 1 位、平行棒 4 位

山室 光史 YAMAMURO, Koji



1989年(平成元年)1月17日生まれ(27歳)。茨城県出身。身長159cm。
現所属:コナミ(日本体育大学卒)。コーチ:加藤裕之、佐藤寿治、森泉貴博。
初めての国際大会:2000年環太平洋スクール選手権
ナショナル入り2007年:ナショナル No.168。

呉傑コーチにより基礎の徹底指導を受ける。腰の怪我により、一時、体操から離れる時期もあったが、その後、地道な治療と練習を続け、2006年インターハイで同学年である内村航平選手の3冠を阻止して個人総合優勝する。

2008年アジア選手権では見事に個人総合優勝を果たし、シニアとして初の国際タイトルを獲得。跳躍系種目とつり輪を得意とし、初代表となった2010年世界選手権では、団体銀メダル獲得に貢献し、種目別つり輪でも4位に。さらに、2011年地元での世界選手権・東京大会では個人総合とつり輪でそれぞれ銅メダルを獲得し、個人としての成長を結果に示した。初出場となるオリンピックでは、団体決勝の跳馬の着地において足を骨折するアクシデントに見舞われたが、痛みのある中でも平静を装い、チームのそばでその戦いを最後まで応援し続けた。懸命のリハビリにより、2013年世界選手権代表の座を勝ち得たが、2014年世界選手権の代表入りを逃す。2015年アジア選手権では久しぶりの団体戦で中国を破っての優勝に貢献。2015年世界選手権では負傷した選手が出たことで急きょ現地に招集されて補欠選手として団体優勝を陰で支えた。

【国内大会】

- ◆98 東日本ジュニア:円馬大会出場◆99 東日本ジュニア A クラス:個人2位◆99 全日本ジュニア B クラス:個人2位
- ◆00 東日本ジュニア A クラス:個人2位◆00 全日本ジュニア A クラス:個人3位
- ◆01 東日本ジュニア A クラス:個人2位◆03 全日本ジュニア2部:出場◆03 全国中学:個人9位
- ◆04 全日本ジュニア:個人 46 位◆04 高校選抜:個人8位◆05 インターハイ:個人2位◆05 全日本ジュニア:個人5位
- ◆05 全日本:個人予選 46 位◆06 インターハイ:個人1位◆06 全日本ジュニア:個人2位
- ◆06 全日本:個人予選 61 位◆07 ユニバー2次予選:個人 23 位◆07 全日本学生:個人 26 位
- ◆07 全日本:個人 9 位◆08 五輪2次選考会:個人 21 位◆08 全日本学生:個人4位
- ◆08 全日本:個人 3 位、つり輪1位◆09 全日本個人:4位◆09NHK杯:個人6位◆09 全日本学生:個人4位
- ◆09 全日本種目別:つり輪1位、跳馬8位◆10 全日本個人:個人 3 位◆10NHK杯:個人 2 位
- ◆10 全日本学生:個人 2 位◆10 全日本種目別:つり輪 1 位、跳馬 2 位◆11 全日本個人:4 位
- ◆11NHK杯:個人 4 位◆11 全日本社会人:個人 2 位◆11 全日本種目別:つり輪 1 位、跳馬 2 位
- ◆12 全日本個人:12 位◆12NHK杯:個人 2 位◆13 全日本個人:個人 36 位◆13NHK杯:個人 35 位
- ◆13 全日本種目別:つり輪 4 位◆13 全日本団体:1 位◆14 全日本個人:8 位◆14NHK杯:個人 14 位

- ◆14 全日本種目別：つり輪 1 位◆14 全日本シニア：個人 13 位◆14 全日本団体：1 位
- ◆15 全日本個人：6 位◆15NHK杯：9 位◆15 全日本種目別：あん馬 5 位，つり輪 1 位◆15 全日本シニア：個人 3 位
- ◆16 全日本個人：9 位◆16NHK杯：7 位◆16 全日本種目別：つり輪 6 位

【国際大会】

- ◆00 環太平洋スクール：団体2位、個人1位◆00UWW カップ：個人1位◆05 国際ジュニア：オープン出場
- ◆06 ウクライナ国際：団体2位、個人4位、あん馬1位、跳馬1位、鉄棒3位
- ◆06 環太平洋選手権ジュニア：団体1位、個人1位、ゆか2位、あん馬1位、跳馬3位、鉄棒1位
- ◆06 ボローニンカップ：団体1位、個人2位、ゆか5位、あん馬7位、跳馬7位、平行棒8位、鉄棒7位
- ◆08 ハンガリー国際：あん馬8位、つり輪4位、跳馬2位、平行棒7位
- ◆08 アジアシニア選手権：団体1位、個人1位、ゆか2位、つり輪2位、跳馬5位、平行棒6位
- ◆09 モントリオール国際：ゆか5位、つり輪8位、跳馬2位◆09JAPAN CUP：団体1位
- ◆10 アメリカンカップ：個人 6 位◆10JAPAN CUP：団体 1 位、個人 2 位
- ◆10 世界選手権：団体 2 位、つり輪 4 位◆11 フランス国際 W 杯：つり輪 5 位（予選 2 位）
- ◆11JAPAN CUP：団体 1 位◆11 世界選手権：団体 2 位、個人 3 位、つり輪 3 位
- ◆11 豊田国際：つり輪 1 位、跳馬 3 位◆12 オリンピック：団体 2 位
- ◆13 世界選手権：つり輪 7 位（予選 8 位），鉄棒予選 27 位◆13 豊田国際：つり輪 2 位、跳馬 5 位，鉄棒 6 位
- ◆14 コト布斯国際：あん馬予選 37 位，つり輪 3 位（予選 6 位），鉄棒予選 16 位
- ◆15 アジア選手権：団体 1 位、つり輪 1 位、平行棒 4 位
- ◆15 豊田国際：つり輪 1 位